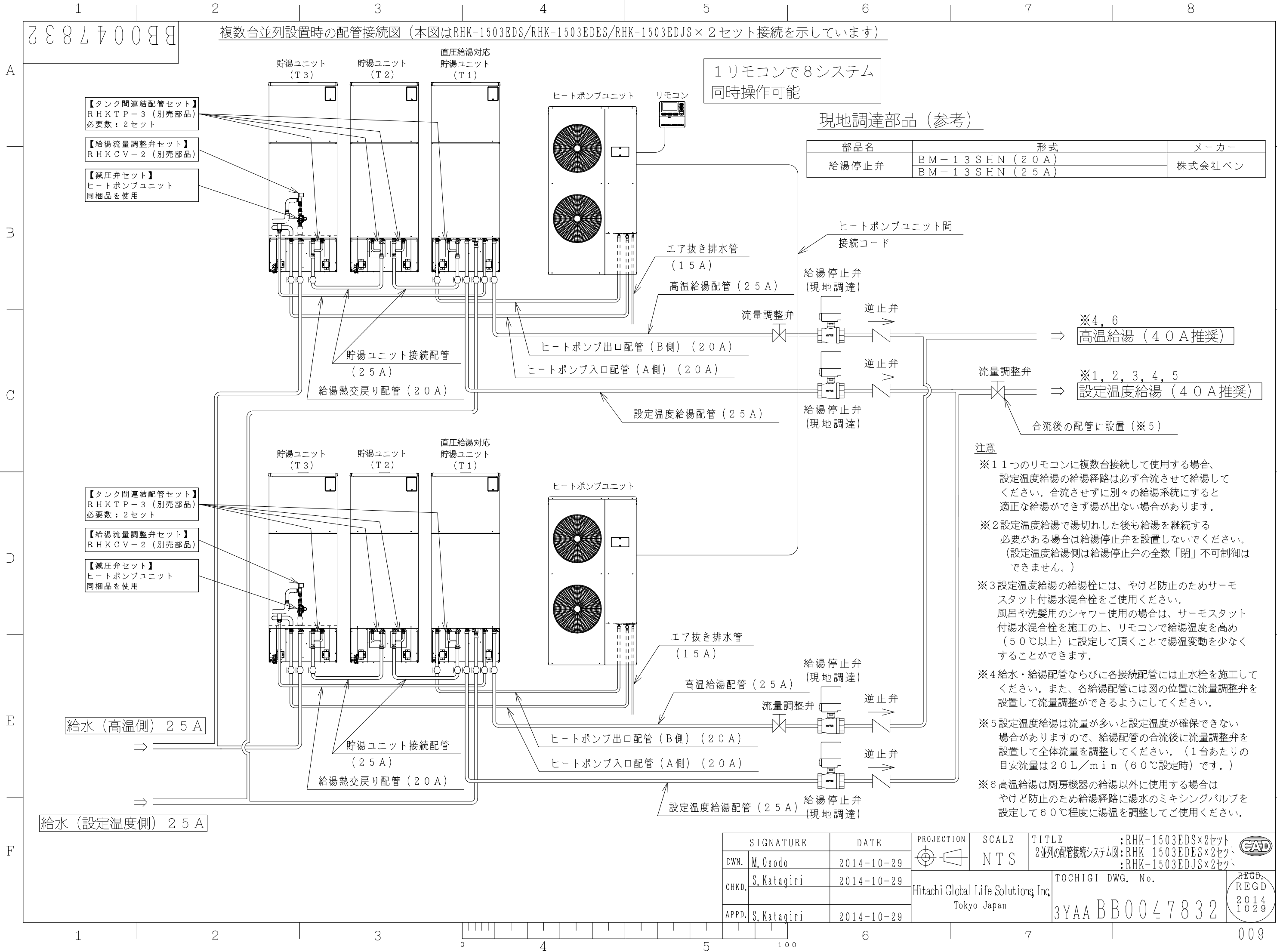
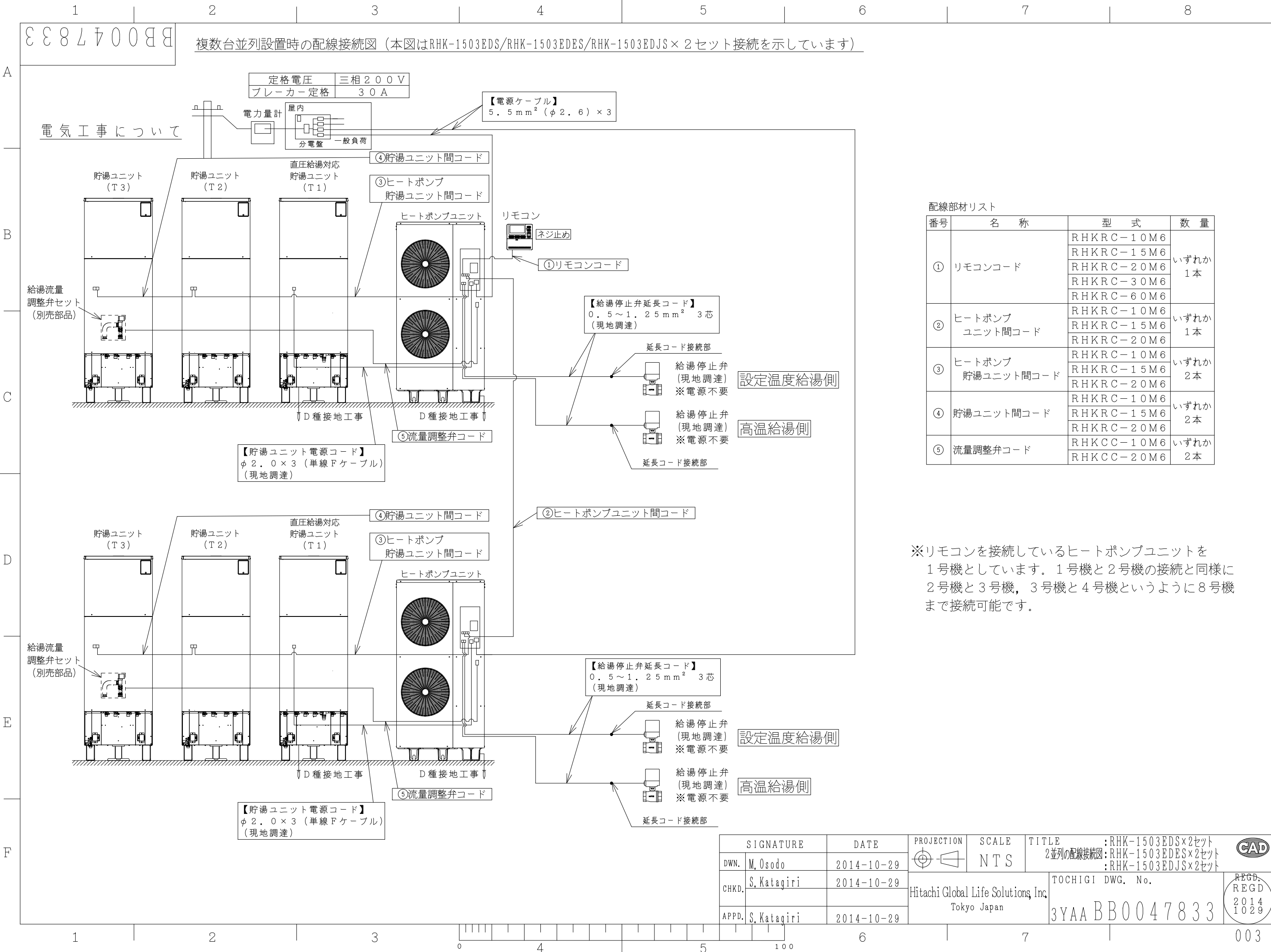


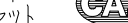




配線部材リスト

番号	名 称	型 式	数 量
①	リモコンコード	RHKRC-10M6	いずれか 1本
		RHKRC-15M6	
		RHKRC-20M6	
		RHKRC-30M6	
		RHKRC-60M6	
②	ヒートポンプ ユニット間コード	RHKRC-10M6	いずれか 1本
		RHKRC-15M6	
		RHKRC-20M6	
③	ヒートポンプ 貯湯ユニット間コード	RHKRC-10M6	いずれか 2本
		RHKRC-15M6	
		RHKRC-20M6	
④	貯湯ユニット間コード	RHKRC-10M6	いずれか 2本
		RHKRC-15M6	
		RHKRC-20M6	
⑤	流量調整弁コード	RHKCC-10M6	いずれか 2本
		RHKCC-20M6	

※リモコンを接続しているヒートポンプユニットを
1号機としています。1号機と2号機の接続と同様に
2号機と3号機, 3号機と4号機というように8号機
まで接続可能です。

SIGNATURE		DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE		
DWN.	M. Osodo	2014-10-29		N T S	2並列の配線接続図		
					: RHK-1503EDS×2セット		
					: RHK-1503EDES×2セット		
CHKD.	S. Katagiri	2014-10-29	Hitachi Global Life Solutions, Inc.			TOCHIGI DWG. No.	
			Tokyo Japan				
APPD.	S. Katagiri	2014-10-29				3YAA BB0047833	

78347834

井水対応時（膨張タンク）設置施工図

設定温度側と高温側で共に「井水」を使用する場合は下記対応が必要です。

- 膨張タンクを必ず取り付けてください。
（推奨品 日立金属製 ST-167V（封入圧100kPaと指定してください。））
- 減圧弁は85kPa仕様品（別売部品 RHKGA85-3）を取り付けてください。
- 使用する水は飲料水の基準に適合し、下記の水質基準範囲内でご使用ください。

水素イオン濃度（25℃）	5.8～8.6pH	シリカ SiO ₂	50mg/L以下
電気伝導率（25℃）	700μs/cm以下	イオウイオン S ²⁻	検出されないこと
塩化物イオン Cl ⁻	100mg/L以下	アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	0.1mg/L以下
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	50mg/L以下	鉄 Fe	0.3mg/L以下
Mアルカリ度pH4.8（酸消費量）	75mg/L以下	銅 Cu	1.0mg/L以下
総硬度 CaCO ₃	200mg/L以下	残留塩素 Cl	1.0mg/L以下
カルシウム硬度 CaCO ₃	150mg/L以下	遊離炭酸 CO ₂	30mg/L以下

ヒートポンプユニットと膨張タンクおよび貯湯ユニット間の据付制約

膨張タンク施工時の注意点

警告

- 施工時 膨張タンクへの配管接続は、膨張タンク接続口に必ず接続する。膨張タンク接続口以外への接続は絶対に行わない。膨張タンク接続口以外を緩めたりすると部品が飛散し、重傷を負う恐れがあります。
- 使用時 膨張タンク使用時は、接続配管を緩めない。緩めると部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。また、タンクの水は、飲用に使用できません。

注意

- 施工時 膨張タンクは基礎、架台等へ確実に固定する。また、転倒防止のため、アンカーボルト等にて確実に固定する。（耐震0.6G以上の要求の場合は上部固定が必要となります。）
吊り下げて設置する場合は固定金具等で固定する。
膨張タンクが転倒し、部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 膨張タンクは、屋内設置仕様です。屋外に設置する場合には、屋外塗装仕様品を指定するか、あるいは防水（雨じまい）防錆等の処置を必ず行う。腐食等により、温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 膨張タンクの「空気圧調整弁」の周囲は、600mm以上の空間を必ず取る。また、タンク上部には配管およびダクト類を通さない。
膨張タンクの整備、取替えができません。

正面設置スペース

平面設置スペース

- システム配管の水圧試験時には、「メンテナンスバルブ」を閉じて膨張タンクへ圧力をかけない。膨張タンクにシステム配管の水圧試験圧力がかった場合、ダイヤフラムが破損する可能性があります。
- 膨張タンクおよび接続配管が、凍結する恐れのある場合は必ず保温工事を行う。膨張タンクを保温する場合は、空気圧調整弁、銘板またはシールが点検時に外部より点検できる様に施工してください。凍結した場合、配管が破損する恐れがあります。
（タンクの保温は16K以上のグラスウール+ラッキングとしてください。）
接続配管には、タンク接続口まで配管ヒータを取り付けるなどの処理をしてください。
- 施工時には、配管の接続を間違わない。誤った箇所へ接続されますと製品が機能しません。
- 膨張タンクへの配管接続は、「フレキシブルジョイント」「メンテナンス用バルブ」「水抜き用バルブ」を必ず取り付ける。

●使用時 1年以内ごとに1回の定期点検を必ず行ってください。

施工上の注意点

- 井水使用の場合は、高温給湯は使用できませんので、封止キャップで塞ぎ、配管接続しないでください。（但し、設定温度給湯・高温給湯用の給水は共に接続してください。）
- 設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。
風呂や洗髪用のシャワー使用の場合は、サーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯温度を高め（50℃以上）に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。また、給湯配管には流量調整弁を設置してください。
- ヒートポンプユニットと貯湯ユニットと膨張タンクの高低差は1m以内に設置してください。
- ヒートポンプユニット入口配管（A側）、出口配管（B側）には施工の際、上図のように空気抜き弁を設置してください。

施工後の試運転

- 施行後、必ず試運転を行ってください。（沸き上げ温度90℃、沸き上げ量100%）
- 沸き上げ完了後、貯湯ユニット（T1）の逃し弁よりエア抜きを行ってください。（数秒間）
（ゴボゴボ音がしたり、水が断続するような場合はエア抜きが終了していません。）

※エア抜きを行わないと、給湯ポンプがエア噛みを起こす恐れがあります。

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE	RHK-1503EDS 井水対応時設置施工図 RHK-1503EDES RHK-1503EDJS	CAD
DWN. M. Osodo	2014-10-29		NTS	Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan	TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0047834	REGD. REGD 2014 1029
CHKD. S. Katagiri	2014-10-29					
APPD. S. Katagiri	2014-10-29					

78347834

007

